

# 令和4年度学生懸賞論文審査結果について

令和5年2月13日

大分大学経済学部教育研究支援室

本年度の学生懸賞論文には22編の応募があり、審査の結果、次のように入選者を決定しました。

(審査委員：城戸 照子, 木村 雄一, 村山 悠, 渡邊 博子)

## 1等 1編

保育・子育て支援サービスの地理学的需給差に関する一考察  
1921159 立浪 圭一郎

## 2等 2編 (順不同)

都市近郊水田農村における耕作放棄の発生と農地保全  
—大分市A集落の各世帯の対応から—  
2021049 江藤 ひなた 2021174 智羽 秀暁

のれんと将来業績の不確実性

2021139 佐藤 芳紀 2021134 貞金 葉月 2021158 瀬口 仁太 2021198 西川 賢佑

## 3等 該当なし

## 佳作 5編 (順不同)

学生アルバイトへの有効的なモチベーション向上のアプローチ方法  
—学生アルバイトと企業双方にとって良好な関係—  
2021170 田中 由夢心 2021020 池澤 愛寿巳 2021080 加藤 さや香  
2021103 久保田 愛海 2021050 衛藤 瑞季

サプライチェーンと人権

—日本における人権デュー・デリジェンスに関する法整備の可能性と有用性について—  
2021181 長尾 亮佑 2021296 野村 一聡 2021085 亀井 瑠莉 2021192 永延 優汰

デジタル社会における経済安全保障 —サプライチェーンの強靱化を目指して—

2021186 中島 光明 2021141 重見 穂乃香 2021052 榎田 博一 2021084 上本 琴音

コロナ禍における酒造（焼酎）メーカーの製品開発の比較

—大手2社の焼酎メーカーを事例に—  
2021235 細川 紘正

再生可能エネルギーの今後の展望を考える —大分の地熱発電の事例を中心に—

2021082 鎌田 大地 2021041 植木 大登 2021267 百田 邦洋 2021256 宮川 広輝

なお、下記の応募論文14編は選外となりました。(順不同)

大分の宇宙ビジネスの可能性 —アメリカと大樹町の事例から考察—

小畑 葵・岡田 裕・片山 恵里・神毛 華瑠・内野宮 千鈴

日本水道事業運営の方向性の検討 —水道法改正とPFI導入からみる課題と対案—

都 優毅

農業における臨時労働者が地域農業に与える影響 —愛媛県西宇和地区みかんアルバイト事業を事例に—

鈴木 詩世

大分県豊後大野市における公共交通の分析とMaaSを利用した新たな交通サービスの提案

—ヒアリング調査と社会実験を用いた交通に関する需要の検証—

大谷 樹・明石 真奈・泉 理奈・西崎 凜々・前田 咲耶・弓削 敦矢

IFRSの任意適用がローカル比較可能性に与える影響

田上 平・石川 家生・後藤 瞭汰・水谷 陽菜

東日本大震災の被災地における孤独解消に関する研究 ～ノルディック・ウォーク教室によるコミュニティ形成～

田島 壮・室町 将亮・黒田 和志・後藤 鈴奈・児玉 望・安部 花音

多様な人が関わる団地内コミュニティづくりの実践 —しきどベースでの活動をふまえて—

前田 彩花・大神 茉穂・小野田 祐太朗・工藤 颯太・森口 颯太

MaaSを活用した九州における観光客の誘客に向けた提案 ～旅行型MaaSを利用して～

松吉 菜桜・飯干 颯太・下村 昂平・杉田 遥・樋口 祐己・真部 和佳奈

成長を実感する学習目標の設定によるPBL活動のモチベーション向上

～大分大学農村発展論ゼミ杵築班3年生を事例に～

北原 颯大

大学生のハイブリッドイベントの運営による学生生活のモチベーションの向上

～大分大学・BunDai ドリームの活動を事例に～

山本 渚

モンテッソーリ教育を利用したモチベーションアップ —大分大学経済学部農村発展論ゼミ学生を事例に—

實松 凧彩

MCを促進するためのアメーバ経営に関する一検討 —多能工化の意義—

島末 あかり・石川 歩果・浦田 悠太・黒木 遥・佐藤 陽菜

中小企業における資金管理のための戦略的活用に関する考察 —会計的提案とその限界に対して—

片岡 大・青山 滯香・海部 聖人・佐藤 なな子・堀 駿吾

LINE公式アカウントを利用した連絡手段の構築によるOBOGの活動意欲向上

—大分県中津市深耶馬溪地区での卒業生の取り組みを事例に—

原 知央

以上